

第 22 回 公開シンポジウムのご案内

捨てられる“食べ物”

——なぜこんなにも捨てられるのか？利用することはできないのか？——

2013 年 2 月 24 日(日)13 時 30 分から
東京ウィメンズプラザ・ホール

【ごあいさつ】

平素は食生活ジャーナリストの会の活動に、多大なご理解とご支援をいただきましてまことにありがとうございます。

当会では、毎年、公開シンポジウムを主催しており、今年度は第 22 回を迎えます。

いま、地球規模で格差が広がっています。とりわけ経済格差は、洋の南北を問わず、主義主張を問わず、民族を問わず、あらゆる国や地域に蔓延しているといつてよいでしょう。もちろん、日本も例外ではありません。

「食」の分野でも、食べすぎて病気になり寿命を縮める人がいる一方で、きょう・あすの食べ物に窮し生命の危機に直面する人たちも増えています。そのような中、日本国内だけでも、食べられるにもかかわらず捨てられている“食品”の量が、国内で消費される米の量に匹敵するというデータもあります。

今回の JFJ シンポジウムでは、生産、流通、販売、消費……それぞれの立場で、私たちには何ができるのかを探ります。

食生活ジャーナリストの会
代表幹事:佐藤達夫

【企画の趣旨】

地球の人口は猛烈なスピードで増え続けています。食料の生産量も、科学の進歩等によって増大してはいるのですが、人口の爆発的な増加には追いつかず、そう遠くない将来に、地球規模での食糧危機が訪れると危惧されています。

よく知られているように、日本は、カロリーベースの食料自給率が約 40%、つまり約 60%にものぼる食料を輸入しています。そのような事情を考慮すると、日本人はさぞかし食べ物を大切に、「一粒の米も無駄にしない」と言いたいところですが、けっしてそうではなく、大量の食料を廃棄しています。

端的にいうと「大量に輸入して大量に捨てている」というのが私たちの現実なのです。「食べられずに捨てられる」食品はフードロスと呼ばれます。

フードロスを「食品」として捉え、捨てるのではなく、食べられない人たちの食事として提供するという活動を行っている NPO 法人もあります。しかし、その量はフードロスのごくごく一部でしかありません。

フードロスが生ずる原因はさまざまです。個人個人が“もったいない”精神を発揮して、食べ物を大切にすることはもちろん重要ですが、それだけでフードロスが激減するというように単純な構図ではないのです。

大量のフードロスは、なぜ、どこから、どのくらい出てくるのか？ それは防いだり減らしたりすることができるものなのか？

また、ゼロにすることができないのであれば、せめて、より有効に活用することはできないのか？ 有効活用にはどのようなものがあるのか？

JFJ シンポジウムでは、女子栄養大学非常勤講師の井出留美さん（セカンドハーベスト・ジャパン広報室長）の基調講演、そして JFJ 会員の報告をもとに、私たちにできることは何か、消費者に伝えるべきことは何か、を考えてみたいと思います。

食生活ジャーナリストの会

食生活ジャーナリストの会 (JFJ) 公開シンポジウム

捨てられる“食べ物”

——なぜこんなにも捨てられるのか？利用することはできないのか？——

<基調講演>	井出留美	(セカンドハーベスト・ジャパン広報担当)
<パネリスト>	近田康二	(食生活ジャーナリストの会会員)
	橋本伊津美	(食生活ジャーナリストの会会員)
<コーディネーター>	佐藤達夫	(食生活ジャーナリストの会代表幹事)
<総合司会>	村松真貴子	(食生活ジャーナリストの会会員)

例年通り、Q&Aの時間をたっぷりとり、会場においてのみなさまに積極的にご参加いただき、活発な意見交換をする場といたします。

ご招待させていただき協賛各社の方々にも、会場において闊達なご意見をお伺いしたいと考えております。

- 日時.....2013年2月24日(日)

シンポジウム開会 13:30(受付 13:10~)終了予定 16:30

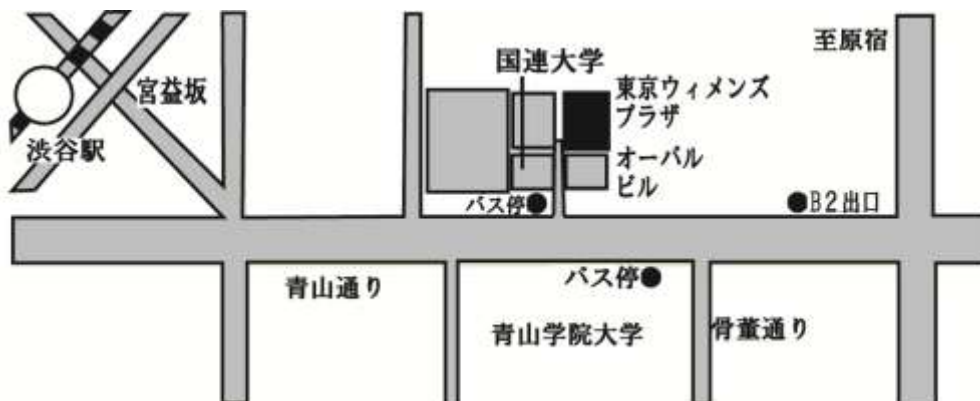
- 場所.....東京ウィメンズプラザ(B1)ホール(東京都渋谷区神宮前 5-53-67)

電話 03-5467-1711(代)

- 交通.....JR 山手線・東急東横線・京王井の頭線:渋谷駅下車徒歩 12分

地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線:表参道駅下車徒歩 7分

☆国道 246 号線のオーバルビル前の看板が目印です。



【参加費】

※農政ジャーナリストの会・会員の方は無料

一般の方...1,000円 学生の方...500円 団体の方(10人以上の団体)...800円

ご出席希望の方は下欄にご記入の上お申し込みください●

JFJ 事務局メール jfj-shoku@t-net.ne.jp

FAX 042-554-3887 JFJ 事務局 行き

.....
食生活ジャーナリストの会(JFJ) 第22回公開シンポジウム

【捨てられる“食べ物”】

.....
誠にお手数ではございますが、ご出席の方は、平成25年2月8日(金)までに、
FAX またはメールにて、ご返信をお願いいたします。

農政ジャーナリストの会 様 ご出席

社名・団体名・ フリー	
所属	
お名前	
住所 TEL&FAX	
メール アドレス	

【お問い合わせ・お申込み】

食生活ジャーナリストの会事務局

(メールアドレス) jfj-shoku@t-net.ne.jp (FAX) 042-554-3887